

報告日 令和6年7月25日  
報告回数 2日目

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	門真市			代表者名	宮本 一孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部ICT推進課	連絡先電話番号	06-6902-5793
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	大中 伸彦	連絡先E-mail	
住所	571-8585 大阪府門真市中町1番1号				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号			

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	テレワーク推進事業、DX関連事業		
概要	コロナ禍を契機として導入したテレワーク制度について、今後システムの更改を行うに当たりより良い制度とするための技術的なご助言をいただくとともに、デジタル田園都市国家構想交付金活用事業に対する外部評価や課長級職員に対する自治体フロントヤード改革とDX推進についての研修を実施していただくもの。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 働き方 テレワーク				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻		
	令和6年7月24日	講演	9時45分	11時30分	
				活動時間（分）	105

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	管理職向け研修として、「リーダーのためのDX理解」～市役所のフロントヤードを改革する～をテーマに、DXやフロントヤード改革についてアドバイザー自らの考えや先進事例等を交えながらわかりやすくかつ熱心に説明いただくとともに、質疑にも丁寧に対応いただいた。
アドバイザーへの要望事項	3日目に予定している同内容の管理職向け研修についても、2日目同様、DXやフロントヤード改革に対する先進事例や具体的な取組を交えながら、本市のDX推進に向けて引き続きご指導・ご助言頂きたい。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	29人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	29	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市全体のDXを推進するにあたり、窓口部門を含めた各所属において、いかにDX推進への理解や意識醸成を行うかが課題である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市全体のDX推進に対する理解が深まることで、業務や行政サービスの改善意識を醸成するとともに、効率的かつ利便性の高い行政サービスを提供することにつながる。また、DX関連事業の実施に関し、適切にフォローアップでき、随時見直しながらより効果的なDX推進につなげられるようになる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	管理職向けDX推進人材育成研修(2回実施予定の1回目)として、各課の所属長を対象に「リーダーのためのDX理解」～市役所のフロントヤードを改革する～というテーマで講演いただき、自治体DXの現状や意義に加えて、フロントヤード改革に取り組む際のポイントやオンライン化による効果等について先進事例や具体的な取組を交えながら解説いただいた。また、デジタル化が進むに伴う今後の庁舎のあり方についても紹介いただき、窓口部門に限らず、市全体としてDXに取り組んでいくことの意義やそれを実現するための管理職の役割や姿勢についてご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	本研修を通じて、DX推進にあたっては全庁一丸となって、各所属がそれぞれの部門における業務への改善や取組を行っていくことの意識啓発につながった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	③現段階では課題・問題が残っているため未定
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	本研修の実施後に、各所属においてどのように業務改善やオンライン化に取り組んでいくか引き続き注視する必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 後日、研修受講者の研修報告書が提出される予定。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXに関する研修などを通じ各所属で自律的主体的にDXに取り組める状態	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可
  ○掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/)

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

